

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
広島工業大学 専門学校	昭和59年1月14日	玉 野 和 保	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1 (電話) 082-295-5111			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人鶴学園	昭和32年11月27日	鶴 衛	〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 (電話) 082-921-3121			
目 的	音響・映像・照明・イベント関係業務に従事するための知識と技術を身に付ける。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教 養	文化・教養 専門課程	音響・映像メデ ィア学科	2年(昼)	1,984単位時間	平成26年文部科学 大臣告示第7号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,376単位時間	0単位時間	0単位時間	1,152単位時間	0単位時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	68人	3人	12人	15人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験・課題・小テストや、授業態度、また出席状況等を総合的に判定し、科目担当教員が評価。	
長期休み	■学年始め：4月4日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～翌年1月7日 ■学 年 末：3月18日～4月3日			卒業・進級条件	卒業条件は、学科の定める卒業認定単位数を満たしていること。進級条件は、出席率80%以上、必須科目の単位の取得を原則とし、学科判定会議、学校全体の認定会議で審議。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 出席率不良(80%未満)学生について、個別の状況把握に努め早期対応を行う。長期欠席者に対しては学科長、校長等が本人に対して保護者を交えて生活指導・進路指導を行う。			課外活動	■課外活動の種類 地域ボランティア清掃、広島市グリーンパートナー、みちのく未来基金募金活動等。 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	■主な就職先、業界等 アーソール㈱, ㈱オーブ・オ, 広島放送㈱ ㈱たけはらケーブルネットワーク, ㈱ミックス ■就職率^{※1} 100.0% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 96.6% (平成27年度卒業者に関する平成28年9月時点の情報)	主な資格・検定	国家技能検定 舞台機構調整・映像音響処理技術者資格・サウンドレコーディング技術・ProTools技術認定・MIDI検定・CGクリエイター検定
中途退学の現状	■中途退学者 2名 ■中退率 3.2% 平成27年4月1日在学者 63名 (平成26年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 61名 (平成28年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的な事情、進路変更(就職)。 ■中退防止のための取組 中途退学は学生本人の生涯に関わる事柄であるため、学科長、校長等が本人に対して保護者を交えて進路指導を行い、中退防止に努めている。		
ホームページ	URL: http://www.hitp.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

音響・映像・照明・イベント等の関係業務に従事するための知識並びに技術を有する技術者を育成するため、企業等と連携し、業界のニーズを反映させた教育課程編成を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名前	所属
木谷幸江	日本照明家協会 理事, 株式会社 篠本照明
吉川 滋	株式会社オーアンド・オー

(開催日時)

第1回 平成28年5月31日 16:00~18:00

第2回 平成29年2月 7日 16:00~18:00 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

音響・映像・照明等の企業において即戦力となる技術者を育成するため、高度な技術を持った講師(スタッフ)の派遣、器材等の提供が可能な企業等を選定している。また、派遣した講師による実践的指導・学習評価が可能な企業等を選定している。

科目名	科目概要	連携企業等
コンサート実習Ⅰ	公共施設であるコンサートホールを利用し、PA技術、レコーディング技術、照明技術、映像収録技術、舞台制作技術を実践的に学習させる。	株式会社ビジュアルパンダー 有限会社アーティス アースオール株式会社
コンサート実習Ⅱ	公共施設であるコンサートホールを利用し、PA技術、レコーディング技術、照明技術、映像収録技術、舞台制作技術を実践的に学習させる。	株式会社ビジュアルパンダー 有限会社アーティス アースオール株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員の専門的な知識や技術・技能と学生に対する指導力等の向上を図るため、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会での審議を通じて示された意見や情報等を十分に把握した上で研修等を計画・実施し、教育活動の充実に努めることを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名前	所属
国貞和彦	学校法人広陵学園 広陵高等学校
高羽 威	一般社団法人 広島県情報産業協会 人材開発委員長
木谷幸江	公益財団法人 日本照明家協会
宮内秀実	河井建設工業株式会社
山本 博	テンパール工業株式会社
大島晋也	広島工業大学専門学校同窓会

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.hitp.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hitp.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 音響・映像メディア学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			生き方講座Ⅰ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	1前	32	1			○
○			生き方講座Ⅱ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	1後	32	1			○
○			生き方講座Ⅲ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	2前	32	1			○
○			生き方講座Ⅳ	社会人並びに職業人として望ましい職業観・就労観を育成する。また、就職活動に関する知識を身に付けさせる。	2後	32	1			○
○			文章技術	明快で論理的な「レポート」「実習報告書」等の作成能力を育成すると共に、論理的な思考を養う。	1前	32	2	○		
○			コンピュータ実習Ⅰ	ビジネス活動に必要なワープロ、表計算、プレゼンテーションの各ツールの基礎及び活用について学ぶ。	1前	32	1			○
○			コンピュータ実習Ⅱ	ビジネス活動に必要なワープロ、表計算、プレゼンテーションの各ツールの基礎及び活用について学ぶ。	1後	32	1			○
○			コミュニケーション	自己のコミュニケーション能力を多面的に分析するとともに日常的な会話やビジネスシーンなどいろいろなコミュニケーション場面を設定し、それぞれの考え方や対処方法を体験的に学ぶ。	1前	32	2	○		
○			プレゼンテーション	効果的なプレゼンテーション資料を作成することができ、それを用いて説得力のあるプレゼンテーションをおこなえるように実践的に学ぶ。	1後	32	2	○		

	○		ビジネスマナー	実社会で必要な言葉使い、挨拶、行動、考え方などについてシミュレーションを通じて体験的に学習する。	2後	32	2	○		
○			音響理論Ⅰ	音声の特性や收音技術に関する基礎技術理論の学習をおこなう。	1前	32	2	○		
○			音響理論Ⅱ	音声の特性や收音技術に関する基礎技術理論の学習をおこなう。	1後	32	2	○		
	○		音響理論Ⅲ	放送業務に関わる上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、音響技術者の育成を目指す。	2前	32	2	○		
	○		音響理論Ⅳ	放送業務に関わる上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、音響技術者の育成を目指す。	2後	32	2	○		
○			映像理論Ⅰ	映像信号の構成、動画の仕組み、実際の映像制作に関する基礎技術理論の学習をおこなう。	1前	32	2	○		
○			映像理論Ⅱ	映像信号の構成、動画の仕組み、実際の映像制作に関する基礎技術理論の学習をおこなう。	1後	32	2	○		
	○		映像理論Ⅲ	映像コンテンツを制作する上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、映像制作、映像管理技術者の育成を目指す	2前	32	2	○		
	○		映像理論Ⅳ	映像コンテンツを制作する上で必要な機器の知識と活用方法を学ばせ、映像制作、映像管理技術者の育成を目指す	2後	32	2	○		
○			音響実習Ⅰ	PA技術、録音技術の基礎を、実体験を通じて学習させる。	1前	96	4	△		○
○			音響実習Ⅱ	PA技術、録音技術の基礎を、実体験を通じて学習させる。	1後	96	4	△		○
	○		音響実習Ⅲ	音響実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的なレコーディング作品の制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2前	96	4	△		○
	○		音響実習Ⅳ	音響実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的なレコーディング作品の制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2後	96	4	△		○

○			映像実習Ⅰ	撮影技術、編集技術、照明技術、収録技術の基礎を、体験的に学習させる。	1前	96	4	△		○
○			映像実習Ⅱ	撮影技術、編集技術、照明技術、収録技術の基礎を、体験的に学習させる。	1後	96	4	△		○
	○		映像実習Ⅲ	映像実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的な作品制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2前	96	4	△		○
	○		映像実習Ⅳ	映像実習Ⅰ・Ⅱで習得した技術をベースに、本格的な作品制作や業界で通じる高度な専門技術を学習する。	2後	96	4	△		○
○			デジタルサウンドⅠ	電子音楽機器の技術理論とオリジナル作品の制作手順を学習する。	1前	32	1			○
○			デジタルサウンドⅡ	デジタルサウンドⅠで習得した技術と基礎をベースに本格的なサウンド制作をおこなう。	1後	32	1			○
○			ビジュアルツールⅠ	コンピュータソフト（フォトショップ、イラストレーター）を活用して、画像処理、画像加工、デザイン画作成を学習する。	1前	32	1			○
○			ビジュアルツールⅡ	コンピュータソフト（フォトショップ、イラストレーター）を活用して、画像処理、画像加工、デザイン画作成を学習する。	1後	32	1			○
○			照明技法Ⅰ	テレビ番組照明、映画照明、コンサート照明などにおける照明機器の扱いや照明を用いての表現など照明について幅広く学ぶ。	1前	32	2	○		
○			照明技法Ⅱ	テレビ番組照明、映画照明、コンサート照明などにおける照明機器の扱いや照明を用いての表現など照明について幅広く学ぶ。	1後	32	2	○		
○			色彩学Ⅰ	色の基本を知ることによって色を操作出来る力をつける。また、色の心理の知識を深め色が及ぼす作用を映像に結びつけ、効果的な作品づくりに役立てる。	1前	32	2	○		
○			色彩学Ⅱ	色の基本を知ることによって色を操作出来る力をつける。また、色の心理の知識を深め色が及ぼす作用を映像に結びつけ、効果的な作品づくりに役立てる。	1後	32	2	○		

○		CG I	2D、3Dグラフィックスの基礎理論と作成技術を学習する。	1前	32	2	○		
○		CG II	2D、3Dグラフィックスの基礎理論と作成技術を学習する。CG作成ソフトを使用し、モデリングからアニメーション、ムービーファイルの作成までを実践的に学ぶ。	1後	32	2	○		
○		アナウンス講座	アナウンサーの養成講座。明瞭な発声方法や正しい言葉使いなどアナウンス技術を実践的に学ぶ。	1後	32	2	○		
	○	映像演出 I	良質な映像作品や番組制作に必要なものは技術だけではなく、的確な表現や正しい時事の扱いが必要になることを本学習で理解させる。映像ディレクターの基本を学ぶ。	2前	32	2	○		○
	○	映像演出 II	良質な映像作品や番組制作に必要なものは技術だけではなく、的確な表現や正しい時事の扱いが必要になることを本学習で理解させる。映像ディレクターの基本を学ぶ。	2後	32	2	○		○
	○	DAWI	音声編集ソフトを使用し、音声データの編集、加工、音質調整等、実践的な実習をおこなう。	2前	32	1			○
	○	DAWII	音声編集ソフトを使用し、音声データの編集、加工、音質調整等、実践的な実習をおこなう。	2後	32	1			○
	○	デジタルメディア I	ネットワークコンテンツの発信方法を学び、Webページの作成、映像コンテンツの配信、インターネット放送など通じて、新しい情報発信方法を体験的に学ぶ。	2前	32	1			○
	○	デジタルメディア II	ネットワークコンテンツの発信方法を学び、Webページの作成、映像コンテンツの配信、インターネット放送など通じて、新しい情報発信方法を体験的に学ぶ。	2後	32	1			○
	○	イベント企画 I	企業のPRイベントから、音楽家のコンサートまで幅広く、イベントの企画から予算管理、交渉、実際の運用までを学習する。	2前	32	2	○		
	○	イベント企画 II	企業のPRイベントから、音楽家のコンサートまで幅広く、イベントの企画から予算管理、交渉、実際の運用までを学習する。	2後	32	2	○		
	○	PA技術	コンサートエンジニアに必要なPA機器の取り扱い方や運用方法など、それらの理論と技術を体系的に学習する。	2前	32	2	○		

	○		レコーディング技術	レコーディング技術の基礎的な知識と、レコーディングを行なう音響機器の機能、構造操作技術を学習する。	2後	32	2	○		
	○		CM制作	テレビCMの意義や必要性を学習することで、実際の制作課程やCMの目的について理解させることを目標とする。	2前	32	2	○		○
	○		VP制作	ブライダル映像、イベント記録映像、商品紹介映像などの放送番組以外の映像コンテンツの活用方法を、作品制作を通じて学習させる。	2後	32	2	○		
	○		ステージ照明	舞台照明のためのライティング技法を学習し、ステージ制作の一端を担う照明の基礎知識と技術を養成する。	2前	32	2	○		
	○		ステージ制作	コンサート・イベントなどにおける制作の基本的な知識を学習。舞台、ステージ制作者に必要な知識・技術を養成する。	2前	32	2	○		
	○		演技・表現技法	演劇などの表現方法を学ぶことで、音響・映像制作者としての感性を磨くことを目標とする。また、実社会で対人関係を良好にするために、身体や言語を用いて感情を表現しコントロールする術も学習させる。	2後	32	2	○		
	○		ラジオ番組制作Ⅰ	ラジオ番組の企画立案・制作・出演・編集から完パケまでを行い、ラジオ放送することにより、現在のラジオ番組制作の流れ・手法等を学ぶ。	2前	64	3	△		○
	○		ラジオ番組制作Ⅱ	ラジオ番組の企画立案・制作・出演・編集から完パケまでを行い、ラジオ放送することにより、現在のラジオ番組制作の流れ・手法等を学ぶ。	2後	64	3	△		○
	○		ビデオコンテンツ	各種映像コンペティションに作品を出品することを目的とした実習。	2前	64	3	△		○
	○		映像卒業制作	映像技術、理論を学習した成果をまとめる卒業制作。	2後	64	3	△		○
	○		音響映像資格対策講座Ⅰ	映像音響処理技術者資格認定試験、サウンドレコーディング技術認定試験、プロツールズ技術認定試験等、音響、映像に関する資格・検定試験の合格を目指し、模擬問題を用いて対策講座をおこなう。	2前	32	2	○		
	○		音響映像資格対策講座Ⅱ	映像音響処理技術者資格認定試験、サウンドレコーディング技術認定試験、プロツールズ技術認定試験等、音響、映像に関する資格・検定試験の合格を目指し、模擬問題を用いて対策講座をおこなう。	2後	32	2	○		

○			コンサート 実習Ⅰ	公共施設であるコンサートホールを利用し、PA技術、レコーディング技術、照明技術、映像収録技術、舞台制作技術を実践的に学習させる。	1 前	32	1			○
○			コンサート 実習Ⅱ	公共施設であるコンサートホールを利用し、PA技術、レコーディング技術、照明技術、映像収録技術、舞台制作技術を実践的に学習させる。	2 前	32	1			○
		○	インターン シップ	連携企業においてインターンシップをおこなう。	1 後	64	2			○
合計					61 科目	2,624 単位時間 (126 単位)		